

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
令和5年度 第3回常任理事会 議事録

令和5年11月16日19時00分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事13名出席の下、常任理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21時30分に散会した。

出席：(理事) 大場、小森、山倉、寺門、笥、細田、荒井、後閑、田口功、柘植、大津、浅野  
松本 13名  
野上(学会実行委員長)、大内(障害と自動車運転支援委員会 委員)

書記：松本

【I 審議事項】

1. 障害

と自動車運転支援委員会の名称変更 夏加委員長 代理：大内委員 理事会・総会承認

<審議概要>

- ・今回、障害と自動車運転支援委員会の活動が障害だけではなく、高齢者の移動に対する安全運転など視野を広めた活動していくにあたり名称変更を審議いただきたい。
- ・「運転・移動支援作業療法委員会」に名称変更しようとしている。
- ・これまでの高次脳機能障害の運転再開支援がメインだったが、今後はそれ以外に介護予防や高齢者の移動支援にも幅を広めようと考えている。
- ・活動内容については総会時までにもう少し具体的にしていく必要がある。
- ・理事会にも承認する必要がある。

<審議結果>

- ・名称変更について総会時に説明し、承認を得る予定。

2. 令和6年度事業計画・予算案について

財務部 後閑部長 ⇒審議継続  
総務部 松本

<審議概要>

- ・来年度事業計画は法人対策部ができたことでこれまでの法人対策委員会と規約委員会が次年度から削除されている。
- ・先ほど審議があった障害と自動車運転支援委員会は「運転・移動支援作業療法委員会」に変更する。
- ・次年度予算案について現在の公益認定基準を満たしているため、法人としては健全な運営ができている。そのため、令和6年度の予算案は「収入≒支出」が基本的且つ重要な考え方になる。
- ・10月31日提出分の初稿を集計すると支出が収入より多くなっているため、事務局で検討した内容(支出<収入)についてご審議いただきたい。
- ・次年度の予算案に関してこれまで事務局で計上されていた各委員会の予算は各部局に紐づけされたため、そちらに振り分けて計上している。
- ・年会費は8000円で想定しているが、会員数の減少・賛助会員数も3社から2社に減っているため、減収となっている。
- ・次年度、宣伝部の会員向けの情報発信はLINE公式アカウントを使うことで印刷代を減らせた。
- ・啓発部で新事業を計画しているため、支出が増えている。
- ・学会の会費を次年度、無料で学会は会場とオンデマンドの想定で考えている。
- ・予算案で学会費を無料で計上していたが、学会参加費を3000円から2000円にするのはどうだろうか。
- ・一度学会を無料にすると会費を再度上げるのは難しいため、今年度は様子を見るのもよいのではないかと。
- ・地域貢献局の予算は3つの委員会が追加になっているため増えている。
- ・教育学術局の運営補助員は時給1000円で上限2000円としているため、地域貢献局や委員会活動の運営補助も同様にした方がよいのではないかと。

- ・各委員会の予算がバラバラなので各委員会 15 万円で統一してもよいのではと考えていたが、予算案を再度計算しなおして委員会の活動費は追加してもよいのではないか。
- ・各委員会の予算案は一度計上したが、予算をはっきりと決めるのは難しく、流動的でもよいのではないか。
- ・医療圏ごとで事業を計画・実施することが難しい状況と推察されたため、無理に行うのではなく、「経過・実施」の目途が立つ医療圏から計画書・稟議書を提出いただき、承認後実行いただく方がよいのではないか。
- ・医療喧嘩割譲の稟議書は事前に提出いただく。
- ・医療圏活動の予算案に関してもコロナ前に行っていた活動ができない医療圏も多いため、上限額を決めて計画を立ててもらうのがよいのではないか。
- ・事務局で検討した内容で予算案を計算しなおすと収支が-80 万円から+80 万円になった。
- ・今後、40 周年やアプリの内容によって予算建てを考えていく必要がある。

<審議結果>

- ・学会費は次年度、参加費 2000 円で様子を見る。
- ・各委員会の費用は大枠 15 万円と決めず、活動内容によって費用を計算する。
- ・人件費について 1 時間 1000 円、上限 2000 円で再度計算する。
- ・学会部と広報部で学会の活動と出前活動を進めていく。
- ・今回話し合った内容を含め、予算案について IBC に相談する。

3. 認知症委員会の謝金支払いについて

地域貢献局 細田局長 ⇒継続審議  
大津委員長

<審議概要>

- ・認知症委員会のスタッフの謝金について 4 月から 9 月までで 68665 円で下半期も約 15 回程度あり、時間もバラバラのため、予算で計上していない謝金をどのようにお支払いするか審議したい。
- ・謝金に関しては公益事業として計上できるが、依頼内容がバラバラなため予算を立てづらいところはある。
- ・これまで無償で委員会活動を行ってきたが今後、依頼の内容によっては交通費などいただく必要があるかもしれない。
- ・依頼先としては学校と行政が多い。
- ・事務局としては 1 回あたり時給 1000 円、上限 2000 円でお支払できればと考えている。
- ・IBC と相談して振り込みのタイミングを決める。
- ・現状、公益社団法人が収益化事業を行うにしても現状難しい。
- ・具体的にどのような形で新しいアプリを運用していくか検討する必要がある。

<審議結果>

- ・1 回あたり上限額 2000 円で謝金を支払う。
- ・活動の進捗状況やアプリの開発状況を見ながら、収益化をどのようにするか検討していく。

4. 事務所セキュリティサービスの件について

事務局 小森局長 ⇒審議継続

<審議概要>

- ・フジタビジネスより専門職協会に事務所セキュリティサービスについて連絡があったので報告したい。
- ・現状、個人のパソコンにウイルスソフトを入れているのみで、法人全体にセキュリティをかけられるものを入れたほうが良いのではないか。
- ・病院などでは法人全体にセキュリティをかけるのが一般的である。
- ・訴えられた場合、どうすることもできないが、サイバー保険も当法人には入っているため、どこまで必要なものなのだろうか。
- ・全体のセキュリティを入れるのに月額 8800 円でセキュリティを入れている。専門協会の三士会折半した額になるため 3000 円しない金額になる。

<審議結果>

- ・基本的には、契約を前提に他士会と連携し進めていく。

## 【Ⅱ報告・連絡事項】

1. 県学会の進捗状況報告 学会長 柘植学会長 実行委員長 野上委員長
    - ・一般演題は午前5セッション午後5セッションで口述のみ。
    - ・座長の選出方法は茨城県士会員の認定作業療法士の方から選出。すでに内諾済み。
    - ・教育講演はシンポジウムにつながるようにキャリアデザインや企業・教育について話していただく予定でいる。
    - ・出店希望の企業が2店舗、広告掲載が1つの病院と3つの企業が希望されている企業がいる。賛助会員にも声をかけている。
    - ・優秀演題賞は各セッションの座長が1演題を決める。
    - ・最優秀演題賞は優秀演題賞の中から1演題を学会長が決める。
    - ・今回、若手奨励賞を優秀演題賞とは別に1～3年の若手の方から決める予定。
    - ・学生優秀演題賞も選出しようと考えている。
    - ・採点基準をある程度明確にすることを考えており、次年度掲載することを目標に検討していきたい。
    - ・今回の学会は現地開催で後日オンデマンド配信する予定している。
    - ・機関誌については表紙を牛久印刷と検討している。
    - ・最優秀演題は第9回北関東信越ブロック学会に推薦する予定。
    - ・表彰規定はその都度、必要に応じて理事会で検討、総会時確認していく。
    - ・ランチョンセミナーの場合、何かしらの食事が必要ではないか。名称も含めて検討していく。
    - ・ランチョンセミナー時に企業紹介をする予定でいたが、学会の開会式の時に紹介するのもよいのではないか。
    - ・最優秀演題賞に選ばれた人がブロック学会に出す文章を機関誌に入れるとよいのではないか。
    - ・学会終了後の懇親会などについては今後検討していく。
    - ・参加者に各種パンフレットを配布する。
  
  2. 自治体又は企業における成人の健康づくりに寄与するPT・OT基礎研修会について 地域貢献局 細田局長
    - ・PT・OT協会事業として自治体や企業に向けて寄与するヘルスケアの検討会が行われている。
    - ・OTではメンタルヘルスについて検討が進んでおり、今年度は準備期でモデル事業を検討し、来年度、各自治体で実施していく予定
    - ・今のところイキイキ地域づくり事業部の藤田部長に参加してもらっている。
  
  3. 収益事業の追加について県からの回答 法人対策部 荒井部長
    - ・新たな収益事業の追加について県に問い合わせたところ、変更認定申請が必要となる。
    - ・変更認定申請を行うためには、多くの資料の提出が必要なため来年度すぐに新たな収益事業を行うことは難しい。
    - ・収益事業に関して認知症関連事業等をどのように収益化するかを具体的にした上で県と相談していく必要がある。
    - ・現時点で新たな収益事業の申請は保留とし認知症関連のコンテンツをどのように運用していくか検討していく。
- ・令和6年1月14日（日）9：00～ 茨城県作業療法士会事務所またはZOOMにて拡大常任理事会開催予定

以上